



地域と医療がつながる拠点 連携ワーキングスペース
みどりまち文庫ニュース

ミライニ発！！図書館×healthcareの企画展示 7月「うんちを知ろう」



7月の企画展は「うんちを知ろう」
担当は山形県内のPOOマスター。

「図書館×healthcare企画展示」第2弾として、POOマスターの私たちが「うんちを知ろう」をテーマに、幼児とその家族を対象に絵本の読み聞かせと相談会を行ないました。

POO（ぷー）は「うんち」のことで、POOマスターは赤ちゃんからお年寄りまで気持ちよく排泄できることを目指して一定の研修を受けた排泄ケアの専門家です。

7月23日（土）の午前中2回実施し、合わせて12組の親子（大人13名、子ども18名）

の参加でした。周囲でも踊っている人がいますので、実際はもっと多くの人を巻き込めたかもしれません。

子どもの興味を引くように、始まる前に子どもたちに“うんちの被り物”を選んでもらい、途中でヤクルトさんからお借りしたエプロンで食べ物の通り道を一緒にたどり（POOマスターのお子様の演技が抜群！）、そしてデジタルサイネージで映像を流しながら、みんなで楽しくバナナうんちを歌って踊りました。

アンケートではうんちの性状に「関心もてた」、参加して「楽しかった」が12組全員でした。

図書館の担当者から「踊りはいいですね」と感想をいただき、騒いでもいい図書館というのが新鮮でした。「誰もがすっきり！のために何かしたい」と思っていた、私たちの思いにピッタリの企画でした。本の貸し出し状況も順調なようで、うんちに関心を持つ機会になれば私たちも嬉しいです。楽しかった～！

文：みどりまち文庫会員・POOマスター大竹

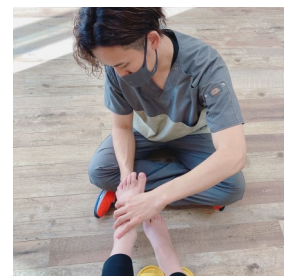
企画主催：酒田駅前交流拠点施設ミライニ・(株)瀬尾医療連携事務所



8月のテーマは「足と靴」

武田洋理学療法士（B-CHANGE）

靴の測定・足と靴の悩み相談会を実施します



みどりまち文庫が大事にしたいのは「浅く広く知る機会」、「出会う場」です。会員募集中です！

みどりまち文庫の予定

気になるイベントがございましたら、ご一緒にしましょう。
お問い合わせは info@seojimusho.com

8月2022年

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 20:00-21:30 第2回 MR&MS 医療貢献研究会 『さー行こう地域連 携室』	6
	イベントは会以外の方も 参加できます。					
7 10:00-15:00 ミライニ発！図書館 ×healthcare「足 と靴」足の測定会	8 19:00-20:30 えら部～A-LOVE ～第2弾 がん手 術から18年「健康 のプロ」薬剤師の父 が亡くなるまで 本 人の意地と家族の 葛藤	9	10 10:00-12:00 こころの相談室	11	12 10:00-15:00 ミライニ発！図書館 ×healthcare「足 と靴」足の測定会	13 お盆休み
14 お盆休み	15 お盆休み	16 お盆休み	17	18 18:30-20:00 障がい分野の学習 会～ 会員限定	19	20 14:00-16:00 ゆるっとカフェ まちづくりスタジオ 鶴岡 Dada
21 13:00-15:00 映像アーカイブ× ACP×地域包括 ケアの課題と可 能性を考える	22 14:00-18:00 ミライニ発！図書館 ×healthcare「足 と靴」足の測定会 19:00-20:30 え ら部～A-LOVE～ 演題未定	23 18:30-19:30 オンライン研修 CLUB プロジェクトオー ディオ インターフェ ース 会員限定	24 13:00-15:00 こころの相談室	25	26	27
28 9:00-11:00 銀座モーニング まちづくりスタジオ 鶴岡 Dada1 階 サロン ドダ	29	30	31			



タイムリーな情報は、(株)瀬尾医療連携事務所Facebookをご覧ください。



会員コラボで新プロジェクトが始まる



働き盛り・子育て世代のがん患者さんと、その家族向けサポートの会 ～折り鶴～



みどりまち文庫には「社会に役立ちたい」という方が多く入会しています。

このプロジェクトは、ご本人ががんサバイバーであったり、身近な方をがんで亡くした経験を持っている方が中心になり、何ができるか、何が必要かについて打ち合わせをおこなってきました。そろそろ始動するそうですよ。この新しいプロジェクトをどうぞよろしくお願いいたします。

問合せは直接 turuoka000@gmail.com へ。

(メンバー：原田・平方・遠藤・佐藤・池田)

映像アーカイブ×ACP×地域包括ケアの課題と可能性を探る

「映像が持つ力を、人生会議や地域包括ケアに活かさないだろうか」と兼ねてから妄想していた水野さんが、みどりまち文庫の仲間になりました。

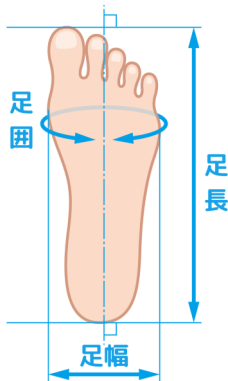
「自分の周りには、医療や介護の専門職の方につながりがなく相談もできなかった」といいます。今、このオモイに興味を持った医療者と共に意見交換会を実施しています。〈だれか〉の記録を介して〈わたし〉の視点をつくる。アーカイブをとおして他者の語りを聞くための「からだづくり」の可能性をどうひらいていくのか。今後、注目したいプロジェクトです。



第7回【コラム～トテのひとりごと～】

③靴の選び方その2～自宅でできる足の計測の実際～

前は靴選びの際、自分の足を計測しておくことの大事さについて紹介しました。今回は身近に足の専門家がいない方向けに、自宅でできる足の計測の実際について紹介していきます。



足の計測に必要なのは

- ①足長（足の先端で一番長い部分～踵の後端を結ぶ線）
- ②足囲（足の親指の付け根～小指の付け根を結ぶ線をぐるりと囲った線）
- ③足幅（足の親指の付け根～小指の付け根を結ぶ線を横断した線）の3点。

計測には布メジャーを使用、体重をかけた状態とかけていない状態の2パターンで測ってみてください。特に②足囲は一度メジャーをキュッと絞ってから少し緩めるのがポイントです。

今回はこの数値を靴選びにどう活用していくかについてお伝えしていきます。お楽しみに！！！！



【連絡先】 トテらば。代表 小柳朋之（理学療法士）
電話番号 090-9745-7719・Eメール totelabo@gmail.com



第4回日本在宅医療連合学会に社会連携で登壇

シンポジウム19 持続可能なまちづくり 七転び八起きの物語

「在宅医療は生活や人生に基づく医療であるので、医療者が意識しようとしまいと、まちづくりに関わっている（省略）」大会長でもあり・セッション座長の谷水正人先生（国立病院機構四国がんセンター）が書かれたセッション概要の言葉です。



日時：7月23日-24日
会場：神戸国際会議場 第一会場 メインホール
写真：会場が大きすぎて、色々諦めた私

皆さんも感じているように医療介護分野を含め、社会で起きている課題の原因は複雑に絡み合っています。「ここに対応すればすべて解決！」とはいきませんよね。だからこそ、多くの業種、ヒト、組織と一緒に考えたり、相談できる場と機会が必要と私は考えています。

このシンポジウムでは、全国各地・多方面から活躍している皆さんから、連携や仕組み、組織を継続する工夫、異業種連携で起きるトラブルへの対応などのお話を聞くことができました。

他のセッションでは、在宅医療に関することはもちろん、まちづくりやデザイン思考をはじめとした話題も多く、楽しく刺激的な学会でした。来年は新潟開催とのこと。皆さんもご参加を検討されてはいかがでしょうか？お勧めします！

その課題は多職種連携だけで解決するの？～疑問から生まれた社会連携の挑戦～

株式会社瀬尾医療連携事務所 瀬尾利加子

【瀬尾が提出した抄録の抜粋】私が、社会連携をテーマにした会社を起業したきっかけは2つあります。

一つ目は、超高齢社会で起こる課題と多職種連携の限界です。

これまで私たちは、医療介護、行政の皆さんと医療、多職種連携の場を作り上げてきたわけです。私が住む山形県鶴岡市も、医療連携、多職種連携が進んでいます。ある日の医療と介護の連携研修会に参加した時、公的サービスの多職種連携だけでの話し合いに限界を感じました。「医療福祉関係者と地域住民や企業といった人たちとて、医療介護分野で抱える課題を一緒に話す場がない。これからは日常的に交流する場が必要じゃないだろうか。」と思えたのです。

二つ目は、医療介護関連の情報を健康なうちに興味を持ってもらう新しい方法を探りたかったからです。

胃ろう造設紹介の入院調整で来院されたご家族と面談をしていた時の事。ご家族が胃ろう造設に迷いがあり「私が親の生死を決めていいのでしょうか」と涙ぐまれたのです。健康に暮らす人々には、医療や介護に関する情報が全く届いていないという現実をみました。何か新しい方法が必要と感じたのです。

病院の外で自由に動ける形でやってみたくなり2017年、株式会社瀬尾医療連携事務所を立ち上げ、第3の連携技術である社会連携に挑戦し始めました。（省略）



講演内容を、わかりやすくグラフィックコーディングに残させていただきました。

発行：株式会社瀬尾医療連携事務所

〒997-0034 山形県鶴岡市本町1-7-45

まちづくりスタジオ鶴岡Dada3階

メール info@seojimusho.com